

Hatoyama

広報はとやま

2017.3.1
no.541



この町で、ずっと笑顔。

～鳩山町の「地域包括ケアシステム」を考える～

4p ご存知ですか？成年後見制度

5p 学校現場で培われる「食」への心

7p はとやま SAKURA ウォークⅢ参加者募集

10p ジェネリック医薬品のご使用を

22p 交通安全作文 優秀作品決定



関連レポート



福祉健康・多世代交流複合施設内に 介護老人福祉施設「鳩山松寿園 東館」が開館しました

町が旧松栄小学校用地内に整備を進めている「福祉健康・多世代交流複合施設」内の施設として、1月24日、介護老人福祉施設「鳩山松寿園東館」の竣工式が行われました。2月1日に開館した同施設は、特養ユニット90部屋、ショートステイユニット10部屋が用意されているほか、一般の方が使用できる「地域交流スペース」や「事業所内保育室」も設置されています。詳細は、同館(☎296-7677)までお問い合わせください。

また、同日、町と社会福祉法人鳩山松寿会の間で、災害時における二次避難所(福祉避難所)の開設等に関する協定締結に伴う調印式が行われました(写真下)。



協定により、災害時に通常の避難所では避難所生活が困難であり、何らかの特別な配慮を必要とする要援護者等の避難先の確保が図られました。

2月からは、新たな生活支援サービスに向け、「介護予防・生活支援サポーター養成講座」が始まりました。受講生は、掃除・調理・買い物や地域のサロンなど、自分のできる範囲で協力できるボランティアとしての知識を深めています。

町では、今後、町社会福祉協議会と連携して、日常生活の支援や、ボランティアを必要とする人をつなぐ役割等を担う生活支援コーディネーター等の配置も進めます。

サービスの充実に向け、皆さんも、自分に何ができるか考えてみませんか。

人と地域をつなぐ生涯活躍のまちを目指して 平成28年度鳩山町地域包括ケア研修事業 生き生き鳩山シンポジウム

概要

総合司会：藤村 龍至先生(東京藝術大学 准教授)

【第1部 講演セッション】(70分)

◆行政説明等(午後2時10分～2時40分)

「町福祉健康・多世代交流複合施設」について

説明者：町・彩西療養通所介護鳩山・鳩山松寿園東館

◆基調講演(午後2時40分～3時20分)

「人生100歳時代を支える活力ある超高齢社会のつくり方」

講師：後藤 純先生(東京大学 高齢社会総合研究機構 特任講師)



【後藤先生プロフィール】

専門分野は、老年学、協働のまちづくり。

平成22年に東京大学大学院博士課程修了後、東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員、特任助教を経て、平成26年より現職。

活力ある超高齢社会を目指して、アクティブシニアが住みなれたまちで活躍するためのコミュニティ活動創出支援と、加齢により体が虚弱化しても安心して暮らしつづけられるための在宅医療を含む地域包括ケアシステムの構築に取り組む。

人生の各段階で、その人に合った サービス等を受けられる環境づくりへ

地域包括ケアシステム構築の拠点となるのが、現在、旧松栄小学校用地内に整備を進めている「鳩山町福祉健康・多世代交流複合施設」です。

不可欠な「人の力」

現在、町ではボランティアなどの協力のもと、地域健康教室やさわやか健康教室等の介護予防事業を行っています。また、はーとんカフェ今宿やニュータウンふくしプラザ等のつどいの場も整備されています。

2月からは、新たな生活支援サービスに向け、「介護予防・生活支援サポーター養成講座」

が始まりました。受講生は、掃除・調理・買い物や地域のサロンなど、自分のできる範囲で協力できるボランティアとしての知識を深めています。

町では、今後、町社会福祉協議会と連携して、日常生活の支援や、ボランティアを必要とする人をつなぐ役割等を担う生活支援コーディネーター等の配置も進めます。

サービスの充実に向け、皆さんも、自分に何ができるか考えてみませんか。

日時：3月19日(日) 午後2時～4時30分(費用無料)

場所：町ふれあいセンター
302・303・304 会議室

申込・問合せ：町包括支援センター
☎296-7700、FAX298-0077

【第2部 パネルディスカッション】(60分)

「今後の鳩山町の取り組みについて」

パネリスト：後藤 純先生・篠田 哲朗氏(鳩山松寿園東館 施設長)・関口 良子氏(彩西療養通所介護鳩山 施設長)・町職員

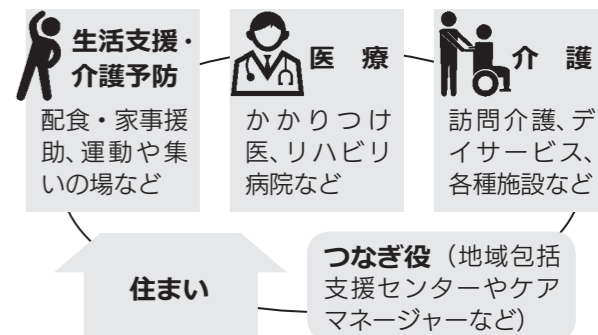
65年後、2人に1人が 65歳以上の推測

高齢化が著しく進む鳩山町。国立社会保障・人口問題研究所によると、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、65歳以上の高齢化率は町内全域で50%になると推測されています。

一方で、鳩山町は、健康寿命が県内で男女とも1位(平成26年データ)となるなど、「元気

「地域包括ケアシステム」とは

健康な状態を保ち、いつまでも元気に暮らすための「生活支援・介護予防」、病気になったときの「医療」、日常生活を一人で行うことが困難になったときの「介護」といった、各段階や状況に応じたサービスを、日常生活圏域(30分で駆けつけられる圏域)で受けられる環境が、「地域包括ケアシステム」です。



広報はとやま1月号で、地方創生加速化交付金を活用した「生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業」の3本柱である、移住促進事業、多世代活躍事業、地域包括ケア等研修事業の概要をお知らせしました。そのうち、「地域包括ケア等研修事業」の一つである地域包括ケア研修が、3月19日に開催されます。

今月号では、この研修の概要と、鳩山町における地域包括ケアシステム構築の方向性をお伝えします。

ピックアップ 広報1

自分らしく、安心した生活への備えを ご存知ですか 成年後見制度



■1月22日に、町ふれあいセンターで行われた『落語「後見爺さん」から学ぶ成年後見制度』。講師の落語家 桂ひな太郎師匠からは、悪徳商法の被害に遭った高齢の母を心配する息子が、親族とともに相談に行く、落語「後見爺さん」が披露され、楽しく成年後見制度について学ぶ機会となりました。

高齢化が著しく進む鳩山町では、高齢者が悪徳商法に巻き込まれる危険性や、将来、認知症などになったときの不安など、生活面での心配の声が多くあがっています。また、高齢者だけでなく、精神障がいや知的障がいなどにより、判断能力が不十分な方が、予期せぬ事態で、突然、寄り添う方を失う場合などの不安もあります。



■ディスカッションに参加した米田先生(写真左上)は、「任意後見制度を利用できる段階から、信頼できる人を見つけておくことが大事」と話していました。また、小川先生(写真右下)からは、「後見人は本人の意思や意向をどこまで引き出せるかが重要」との話がありました。

成年後見制度 Q & A

早分かり

Q 成年後見制度って？

A 認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な人の、預貯金の管理など(財産管理)や、日常生活での様々な契約(身上監護)を支援する制度です。支援する人が利用者本人に代わって契約などを行う(代理権)、契約などの法律行為に同意する、本人のみで行った不利益な契約などの行為を取り消す(同意権・取消権)などといった援助を行います。

Q どのような状態から支援を受けられる？

A 判断能力が不十分な人が受ける「法定後見制度」と、判断能力のある状態から受けられる「任意後見制度」があります。ただし、任意後見では、先の同意権・取消権は受けられません。法定後見制度は、本人の判断能力の程度やその他の事情によって「後見」「保佐」「補助」の3つに分けられます。

Q 制度を利用したいときの手続きは？

A 「法定後見制度」は、本人の住所地にある家庭裁判所に申立を行います。「任意後見制度」は、本人と任意後見受任者が公証役場で公正証書を作成し、契約を交わします。費用は、平均的に10万円前後となるケースが多いです。

相談・問合せ：町健康福祉課 障害者福祉担当
☎ 296-1241 (FAX296-3390) または町包括支援センター ☎ 296-7700 (FAX298-0077)

本人の意思を尊重しつつ 家族で将来の備えを

70人を超える方が来場した講演会では、講師の落語家桂ひな太郎師匠から「まだまだ制度の認知度が足りない」と、将来の不安を軽減する制度の存在をもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いが語られていました。講演会では、町内で活躍して

いる成年後見人である、コスモス成年後見サポートセンター会員の米田恵先生(行政書士)、あかね社会福祉士事務所代表の小川政博先生(社会福祉士)も出席し、ディスカッションも行われました。死後は本人の定期預金などを親族であっても下ろせないケースも増えていることから、本人の意思で後見人を決めておくことが大事であること、成年後見制度の根幹となる、信頼関係を築くことの大切さなどが語られました。

自身も高齢世代となり、制度のことを勉強しているという桂ひな太郎師匠は、「制度は、転ばぬ先の杖」。先のことを見すえて、家族などと話し合っておくことが重要。元氣なうちに取り組み始めるのが一番」と呼びかけていました。

ピックアップ 広報2

栽培、加工体験、レシピづくり... 学校現場で培われる「食」への心

給食に感謝の気持ちを

学校給食は、明治時代に始まり、栄養が不足しがちだった多くの子どもたちを救いました。当時の気持ちを忘れないようにと、1月24日～30日に設けられているのが「全国学校給食週間」



■1月下旬、各小学校で、「給食感謝の会」が行われました。1月24日、今宿小学校では、給食委員の児童らによる「給食クイズ」も行われました。

です。

町内の各小学校でも、学校給食に携わる人々に感謝しようと、毎年、「給食感謝集会」が行われています。給食センターの調理員などを学校に招き、給食に関する話を聞かせてもらった後、児童たちがお礼の手紙を直接渡しています。

自分で育てた食材で 料理や行事を体験

各小学校では、「学校ファーム」と呼ばれる農園などで、年間



■1月31日、亀井小学校では、3年生を対象に、保護者も参加できる「大豆とうふ作り」を行ないました。使用した大豆は、児童らが種まきから収穫まで体験し、自ら育てたもの。各地で講師を務める渡辺氏も、こうした「地産地消」の取り組みは珍しいと話していました。

を通じて様々な農作物の栽培・収穫体験を行っています。児童自らが生産を体験することで、食材の作られる工程を知り、食への関心が高まり、感謝の心を育てています。さらに、自ら育てた農産物を使って、地域の皆さんの協力のもと、子どもたちは様々な調理やイベントも体験しています。亀井小学校では大豆で豆腐づくりを、鳩山小学校では今年度は大豆で豆まきを行いました。また、今宿小学校では春頃、麦でうどんづくりを行うそうです。

食べられることは 当たり前じゃない



■2月3日、鳩山小学校の3年生は、児童自ら栽培・収穫した大豆を使って、「豆まき集会」を行いました。大豆はその他にきなこにして食べるなどしました。

こうした取り組みにより、子どもたちは「食べられることは大事」であることを身近に感じるとともに、「食べられることのありがたみ」の気持ちを持つようになっています。前述した「給食感謝集会」で、調理員が口にした「食べ残りが少ないと疲れも吹き飛ばすほどうれしい」という言葉の意味も、児童たちはきちんと理解できたのかもしれない。

自分のレシピが給食に

地産地消や食への関心を高めてもらおうと、町保健センターが平成24年度から実施している「はとっ子給食レシピコンテスト」。1月23日、「給食でこれが食べたい!部門」の最優秀賞作品「大豆も野菜もたっぷりタコライス」が、給食メニューとして登場しました。レシピを考えた本郷珠々さん(鳩山小3年生。写真中央)は、「家族といっしょに考えた自分の好きなメニューが給食に出てうれしい」と話していました。

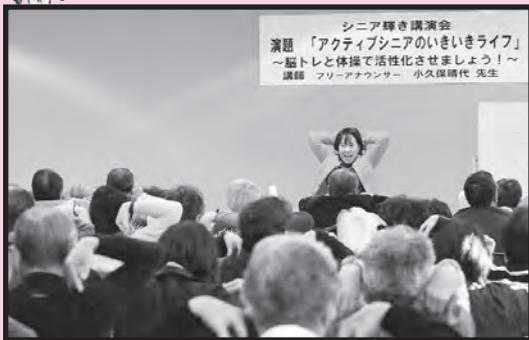




健康レポート



「まだまだ体は変えられる」と語る講師の小久保氏



「シニア輝き講演会」で活性化&健康術を学ぶ

1月21日、町ふれあいセンターで「シニア輝き講演会」(町社会福祉協議会・包括支援センター共催)が行われ、参加者は、手遊びや発声練習、足踏み体操、肩回しなど、身体を活性化させる脳トレや体操を体験しながら学びました。

この講演会は、元気な高齢者が、今後は社会の支える側になることを後押ししようと、埼玉県アクティブシニア社会参加支援事業として開催しました。皆さんも、社会参加のために、まずは身体や脳を活性化することから始めてみませんか。



参加者からは「体の健康だけでなく、脳トレにも今後は取り組みたい」「いろいろなボランティア団体を調べて、自分のことができる活動が反映されるような活動したい」などの声があがっていました。

今回は北部地域を散策します♪

町の魅力を再発見

鳩山町保健推進協力委員主催ウォーキング

「はとやま SAKURA ウォークⅢ」

～高野倉・熊井・泉井を歩こう!～

参加者募集

桜を見ながら、心も体もリフレッシュしよう!
一年に一度、心待ちにしている桜の開花の季節。今年も、高野倉、熊井、泉井地区の桜の見所を巡り、ウォーキングの楽しさを体感しながら、町の魅力を再発見できるコースです。
春を満喫し、心身ともにリフレッシュしませんか。ぜひ、ご参加ください。
▼日時 4月1日(土) 午前8時45分から午後0時20分まで(予定)
※受付は午前8時30分から。雨天中止。

▼集合場所 亀井運動場
▼コース 亀井運動場→高野倉ふれあい自然公園→東山沼逆さ桜(熊井)→亀井運動場(8.4km)
▼持ち物 飲み物、タオル、その他各自必要なもの。動きやすい服装・靴でご参加ください。
▼参加費 無料
▼定員 50人(未就学児を除く。定員を超えた場合は抽選。選外者のみ連絡)
▼申込・問合せ 3月24日(金)までに保健センター(☎296-2530)まで

行政ならではの利点があります お気軽にご相談ください

「眠れない・・・」「誰かに相談したい・・・」そんな不安や悩みを相談する場所の一つとして、町が行う「こころの健康相談(日程は下記参照)」があります。ご家族の方のみの相談や、訪問も可能です。

行政に相談することで、①秘密が守られる、②公的な制度・サービスとつながっている、③多様な情報が得られる、などの利点があります。抱えている不安や将来への希望など、思いのままにご相談ください。

鳩山町では、小さな自治体であることを強みに、部署をまたいだ相談体制を整えています。そのほか、常勤の保健師、精神保健福祉士などによる相談も随時承っています。まずはお気軽にご連絡ください。

下記の相談窓口もご利用いただけます

- ◆支援情報検索サイト: <http://shienjoho.go.jp/>
- ◆こころの健康相談統一ダイヤル ☎ 0570(064)556
- ◆よりそいホットライン ☎ 0120(279)338
- ◆坂戸保健所 ☎ 049(283)7815

3月は自殺対策強化月間 あなたの声かけで命をつなごう



内閣府では、例年、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。国や県市町村をはじめ、直接・間接的に関係する組織や団体などが幅広く手をつなぎ、「誰も自殺に追い詰められることのない社会」の実現のため、自殺対策を重点的に行うこととしています。

あなたも、だれかのゲートキーパーに

2月号でお知らせしたとおり、3月7日に「ゲートキーパー入門講座」を開催します。ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る人のことで、近年では地域の自殺予防の担い手として大変注目されています。

自殺には、何らかのこころの病気が関係していることが多く、中でもうつ病の割合が高くなっています。うつ病になると、多くの場合、本人は自身の変化(うつ病の発症、悪化など)に気づくことが難しい状態になっていきます。そこで、周囲の人が変化に気づき、温かな声をかけ、必要な支援につなげることで、大切な人の命を守ることになります。

身近な人が「元気がない」「様子がおかしい」と気づいたとき、あなたの優しさや心配に思う気持ちも言葉にしないと十分には伝わりません。勇気を出して声をかけ、温かなゲートキーパーの輪を鳩山町に広げていきましょう。

▼問合せ 町保健センター ☎ 296-2530

平成29年度鳩山町成人健(検)診

新年度の健(検)診は、平成29年3月中旬以降、各ご家庭に世帯主様宛てで郵送する申込書一式をご覧の上、お申し込みください。

また、お子さんから大人の方までの健診等日程を掲載した『鳩山町健康カレンダー』は4月に全戸配布する予定です。

問合せ 町保健センター ☎ 296-2530

高齢者肺炎球菌予防接種

平成28年度対象の方が定期接種(一部助成)として受けられるのは、平成29年3月31日までです。ご希望の方は、医療機関にお申し込みの上、お早めに接種を受けてください。

なお、平成29年度対象の方には、4月初旬に個別通知します。

問合せ 町保健センター ☎ 296-2530



健康「相談室」

3月中旬～4月上旬

●こころの健康相談

皆さんの不安や悩みに対し、臨床心理士や保健師、精神保健福祉士が相談に応じます。

対象 町内在住の方(予約制)

日時 3月15日(水)午後1時30分～4時30分

場所・問合せ 町保健センター ☎ 296-2530

●ニュータウンふくしプラザ保健師相談会

町の保健師が、血圧測定や健康に関する相談を行います。

日時 3月13日(月) 午前10時～11時30分

場所 ニュータウンふくしプラザ

問合せ 町健康福祉課 ☎ 296-1241

暮らしの情報

Life Information



就労・試験

役場総務課 臨時職員募集

▼対象 平成29年4月1日現在、65歳未満の方で、簡単なパソコン操作のできる方

▼職務内容 電話交換業務および一般事務補佐

▼勤務期間 平成29年4月1日～平成29年9月30日まで(週5日勤務)

▼勤務時間 午前8時30分～午後5時15分(休憩時間60分)

▼勤務場所 鳩山町役場総務課内

▼賃金 時給880円(社会保険・雇用保険加入、通勤手当なし)

▼募集人員 1人

▼採用の決定 書類・面接により決定

▼申込 3月1日(水)～21日(火)の期間に、履歴書を持参の上、役場総務課(庁舎2階)へお申し込みください。

▼問合せ 役場総務課 総務担当 ☎296-1214

文化財調査補助員

▼対象 平成29年4月1日現在で65歳までの方

▼職務内容 発掘調査・整理作業、その他展示作業など

▼勤務期間 平成29年4月10日～平成29年9月30日まで(週3日勤務)

▼勤務時間 午前9時～午後4時(休憩時間60分)

▼勤務場所 教育委員会文化財分室(松ヶ丘4-1-1鳩山町多世代活動交流センター内)

▼賃金 時給890円(労災保険加入、通勤手当なし)

▼募集人員 1人

▼選考試験(面接) 後日連絡します

▼申込 3月1日(水)～21日(火)の期間に、履歴書を持参の上、文化財分室へお申し込みください。

▼問合せ 生涯学習課 文化財分室 ☎296-3862

自衛官等採用試験

▼職種 ①幹部候補生(一般・歯科・薬剤科) ②予備自衛官

公募します

鳩山町人権政策推進協議会委員

町では、人権尊重の理念の普及と実現を目指し、町の人権施策の総合的な推進を図るため、次のとおり鳩山町人権政策推進協議会委員を公募します。女性委員の拡大のため、女性の積極的な応募をお待ちしています。

- ▶**応募資格** 次の①～④にすべて該当する方
- ①本町に引き続き1年以上住所を有する方
 - ②平成29年4月1日現在において、満20歳以上の方
 - ③応募日現在において、本町の審議会等に2件以上の公募委員となっていない方
 - ④審議会等の公募委員就任回数が過去5回以上でない方
- ▶**募集人員** 2人
- ▶**報酬等** 条例に基づき支給
- ▶**任期** 平成29年4月1日～平成31年3月31日
- ▶**応募方法** 役場総務課(庁舎2階)、役場東出張所に

備えてある応募用紙に必要事項を記入の上、3月9日(木)～23日(木)(必着)の期間に、前記のいずれかに提出してください。(土・日曜日、祝日を除く午後5時まで。郵送の場合は総務課宛)

- ▶**委員の決定** ①応募者が募集人員に満たない場合は、応募資格を確認の上、原則として応募者を委員に決定します。
- ②応募者が定員を超えた場合には、公開抽選により委員を決定します。
- ▶**公開抽選** 3月29日(水)午後2時から(役場3階301会議室)
- ※結果については、応募者全員にお知らせします。
- ▶**問合せ** 〒350-0392 鳩山町大字大豆戸184-16 鳩山町役場総務課 人権政策担当 ☎296-1214、FAX296-2594

ごみ・資源収集カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
3/12	13	14	15	16	17	18
	資源 A 資 B 資 B 資	可 A 可 B 可	不 A 不 B 資	資紙 A 資紙 B 資紙	可 A 可 B 可	
19	20	21	22	23	24	25
	資源 A 資 B 資	可 A 可 B 可	資紙 A 資紙 B 不		可 A 可 B 可	
26	27	28	29	30	31	4/1
	資源 A 資 B 資	可 A 可 B 可			可 A 可 B 可	
2	3	4	5	6	7	8
	資源 A 資 B 資	可 A 可 B 可	不 A 不 B 資	資紙 A 資紙 B 資紙	可 A 可 B 可	
9	10	…ごみ収集日 A…亀井・今宿地区 B…ニュータウン地区				

可…可燃物 不…不燃物・有害ごみ 資紙…紙・布類 資紙…紙・布類 資紙…紙・布類
資紙…紙・布類 資紙…紙・布類 資紙…紙・布類
資紙…紙・布類 資紙…紙・布類 資紙…紙・布類
資紙…紙・布類 資紙…紙・布類 資紙…紙・布類

3月の休日当番医 ※診療時間 午前9時～午後5時

日程	医療機関	診療科目	電話番号
5日(日)	野崎医院(小川町)	内科、外科、皮膚科	0493-72-0101
12日(日)	いちごクリニック(東松山市)	内科、小児科、胃腸科、アレルギー科	0493-36-1115
19日(日)	中川医院(東松山市)	内科	0493-23-1004
20日(祝)	中村産婦人科(小川町)	産婦人科、内科、小児科	0493-72-0373
26日(日)	岸澤内科心療科医院(東松山市)	内科、精神科、心療内科	0493-22-0762

	電話番号	受付時間
休日や夜間の急病相談		
小児救急電話相談	# 8000 ※048-833-7911	(月～土) 午後7時～翌朝7時、(日・祝日) 午前9時～翌朝7時
おとなの救急電話相談	# 7000 ※048-824-4199	(月～土) 午後6時30分～10時30分まで(日・祝日) 午前9時～午後10時30分
平日夜間時のお子さんの急病・けがなど		
比企地区こども夜間救急センター	0493-22-2822	【受付】月～金の午後7時30分～10時 【診察】月～金の午後8時から
場所：東松山医師会病院内(東松山市神明町1-15-10)		

※ダイヤル回線、IP電話、ひかり電話の場合

▼**試験日** 【第1次試験】6月11日(日) 【第2次試験】7月12日(水)～19日(水)で指定する日(※試験程度は大学卒業程度)

▼**申込** 3月31日(金)午前9時～4月12日(水)の間に、原則インターネット(http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html)で受付。(※受験資格など、詳細は左記まで)

▼**問合せ** 関東信越国税局人事第二課試験係 ☎048-160013111(内線2097)

補(一般・技能)

▼**試験日** ①5月13日(土)・14日(日) (14日は飛行要員希望者のみ) ②4月14日(金)～18日(火)のいずれか1日

▼**応募資格** 予備自衛官補(一般)は18歳以上34歳未満(平成29年4月1日現在の年齢)。それ以外は下記までお問い合わせください。

▼**受付期間** ①3月1日(水)～5月5日(金) ②4月7日(金)まで

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**問合せ** 防衛省自衛隊埼玉地方協力本部入間地域事務所 ☎04-12923-4691

▼**試験日** 【第1次試験】6月11日(日) 【第2次試験】7月12日(水)～19日(水)で指定する日(※試験程度は大学卒業程度)

▼**申込** 3月31日(金)午前9時～4月12日(水)の間に、原則インターネット(http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html)で受付。(※受験資格など、詳細は左記まで)

▼**問合せ** 関東信越国税局人事第二課試験係 ☎048-160013111(内線2097)

ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使用してみませんか

現在、医療技術の高度化や急速な高齢化の進展など、医療を取り巻く環境は大きく変化し、医療費は増大を続け、年々厳しい財政状況となっています。ジェネリック医薬品を使用することにより、一人ひとりの自己負担や医療保険財政の改善、医療費の抑制につながります。

鳩山町では、国民健康保険に加入している方のうち、右記の要件に当てはまる方へ「ジェネリック医薬品(後発医薬品)利用差額通知書」を、10月と3月の年2回通知します。

これは、現在処方されている薬剤をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額がどれくらい軽減されるかを記載した通知です。

通知内容を参考に、かかりつけ医師や薬剤師にご相談の上、ジェネリック医薬品への切り替えをご検討ください。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)って?

新薬(先発医薬品)と同じ有効成分で製造された薬のことです。ジェネリック医薬品の品質・有効性・安全性は、新薬と同等であると、厚生労働省が認めています。※すべての薬にジェネリック医薬品があるとは限りません。かかりつけ医師や薬剤師にご相談ください。

- ▶通知対象 ◆生活習慣病(高血圧、脂質異常症、糖尿病)に関する薬剤の処方を受けている方
- ◆ジェネリック医薬品に切り替えた場合、自己負担額が300円以上の軽減効果が見込める方
- ▶問合せ 町民課 保険年金担当 ☎ 296-5891

届出など

お忘れなく 重度心身障害者自動車燃料費補助金の請求

▼補助対象 対象となる燃料費の領収書の日付が、平成28年4月1日から平成29年3月31日までのもの

▼平成28年度分の請求期限 平成29年4月10日(月)まで

※請求期限を過ぎて請求されたものは、お支払いすることができませんのでご注意ください。

▼問合せ 役場健康福祉課 障害者福祉担当 ☎ 296-11241、FAX 296-13390

◆平成29年度重度心身障害者福祉タクシー利用券を交付します

町では、重度心身障がい者の社会生活圏の拡大と経済的負担の軽減を目的に、福祉タクシー利用券の交付を行っています。

▼対象 町内在住で身体障害者手帳1・2級、療育手帳A・A、精神障害者保健福祉手帳1・2

級のいずれかの手帳をお持ちの方 ※重度心身障害者自動車等燃料費補助との併給不可。施設入所者は対象外。

▼交付場所 役場健康福祉課(1階)または役場東出張所

▼交付開始日 3月13日(月)から ※土・日曜日、祝日を除く

▼問合せ 役場健康福祉課 障害者福祉担当 ☎ 296-11241、FAX 296-13390

◆結婚や退職等で配偶者の扶養に入ったとき

◆配偶者の扶養からはずれたとき

◆配偶者が会社をかえたとき ※届出の内容により、届出先が異なります。また、届出の際には国民年金手帳や添付書類が必要になりますので、事前にご確認ください。

◆国民健康保険 特に、加入・喪失の届け出忘れがないか、もう一度ご確認ください。届出は、異動があつてから14日以内にお願ひします。

【届出が必要になる場合】

◆職場の健康保険をやめた(加入した)とき、扶養家族でなくなった(扶養家族となった)とき

◆他の市区町村から転入(転出)したとき

◆国保加入者に子供が生まれたとき

◆死亡したとき

◆生活保護を受けなくなった(受けるようになった)とき

◆住所・世帯主・氏名などの保険証に記載する内容が変わったとき

◆保険証をなくしたとき・破損

就職や結婚などの異動により加入の種類が変わるときは、年金および健康保険の届出が必要です。

◆国民年金 20歳から60歳になるまでの40年間は、すべての人が国民年金に加入します。届出忘れや納め忘れから年金が受けられない、ということがないようにしましょう。

【届出が必要になる場合】

◆20歳になったとき

◆会社を退職したとき

退職中の看護職の方は届出が必要です

法律の改正により、看護職の資格をお持ちで就業していない方は、県ナースセンターへの届出が努力義務になりました。転居や出産育児等で離職した方は届出をお願いします。

▼届出方法 埼玉県看護協会ホームページ上の「とどけるん」のページから入力または左記にて詳しくご案内します。

▼問合せ 埼玉県ナースセンター ☎ 048-1824-7220

住宅のリフォーム資金を補助します



今お住まいの住宅を町内業者により改修する場合、その費用の一部を町で補助します。

▼補助対象工事 町内業者が行う20万円以上(税別)の個人住宅の改修工事(増築を除く)。ただし、部分的な修繕工事は除きます。

▼申込方法 鳩山町住宅リフォーム補助金交付申請書に必要書類を添えて提出。詳細は左記までお問い合わせください。

▼申込・問合せ 役場産業振興課 ☎ 296-15895

2657(でも)確認できます。

▼補助金額 改修工事に要した費用の100分の5に相当する金額で10万円を限度とします。(千円未満切り捨て)

▼申込開始日 4月3日(月)から(※この補助制度は、予算の範囲内で行うもので、先着順となります。)

▼申込方法 鳩山町住宅リフォーム補助金交付申請書に必要書類を添えて提出。詳細は左記までお問い合わせください。

▼申込・問合せ 役場産業振興課 ☎ 296-15895

レポート



橋本氏は、「調査結果を活用して、虐待としつけの捉え方の参考にしてほしい」と呼びかけました。

鳩山町児童虐待を考える講演会で虐待の境界と育児不安を学ぶ

1月30日、児童相談所、町内の教育機関、保育所、警察署などで構成される「鳩山町要保護児童対策地域協議会」の代表者会議にあわせて、役場会議室で「鳩山町児童虐待を考える講演会」(主催：町健康福祉課)が開催されました。

講演会では、講師の山村学園短期大学 保育学科の橋本淳一 准教授から、大学が実施した子育てを巡る2つのアンケートの分析結果が紹介されました。参加者は、程度によっては許容する行為の割合から、様々な立場により虐待への意識が異なることや、子育てストレスや経済不安などの育児不安の7要素と、子育ての喜びや張り合いとの関係性などの解説を、熱心に聞き入っていました。

最近、あの子の様子がおかしい... そんなときは、迷わずご連絡ください

■連絡先

役場健康福祉課 ☎ 296-1241、FAX 296-3390

川越児童相談所 ☎ 223-4152、FAX 224-5056

※夜間、休日の場合は町役場 ☎ 296-1211 (代表)へご連絡ください。警備員が取り次ぎし、関係課からご連絡いたします。ただし、緊急時は、警察などへご連絡をお願いします。

総合福祉センター開放日

町民の皆さまを対象に、総合福祉センターを開放します。開放日は、入館料とカラオケ使用料が年齢を問わず無料になります。ぜひ、ご利用ください。

開放日：4月16日(日) 問合せ：総合福祉センター ☎ 296-5000



レポート

西入間交通安全協会が
交通事故被害ゼロを願って
新1年生にランドセルカバーを配布

1月27日、西入間交通安全協会が、痛ましい交通事故が発生しないようにとの願いを込めて、町内各小学校に、新1年生向けのランドセルカバーと啓発パンフレットを配布しました。(写真は、亀井小学校校長への配布時に撮影)

鳩山町は、2月11日現在、交通事故死亡者ゼロが2,930日続いていることから、先生方と保護者に、交通安全へのより一層の協力をお願いしました。皆さんも、交通事故を防ぐため、交通ルールの遵守や思いやり運転をお願いします。

日を守らない、事業系ごみが出されているなど、適正に利用されていない方も見受けられます。ごみ集積所は、隣接地の方や清掃当番の方などのご理解をいただいて利用されています。ごみの排出は、分別や指定日、事業系ごみの適正処分などを守っていただきますようお願いいたします。

▼問合せ 役場生活環境課
☎29615894

お願い

▼問合せ 県業務課☎0481-83013635

卒業献血キャンペーン
にご協力を

学校で配布されたチラシを持って、県内の献血ルームで献血にご協力いただいた高校卒業の方に、埼玉県限定のケース付きイヤホン(予定。無くなり次第終了)を差し上げます!

▼対象 プレゼントは平成29年3月に高校卒業(見込み)の方のみ。献血は16歳~64歳。

▼期間 4月30日(日)まで

ごみの減量と集積所の
適正利用を

町では周辺の市町(鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町)と共同で、ごみの処理を行なっています。埼玉西部環境保全組合の報告では、平成27年度の鳩山町の1人1日あたりに処理した燃やせるごみの量は約640g(平成26年度約645g)、燃やせないごみの量は約44g(平成26年度約

45g)と前年度よりは減少していますが、いずれも組合を構成する市町の平均よりも高い数値になっています。

日常生活の中でREUSE(リユース...減らす)、REDUCE(リデュース...減らす)、RECYCLE(リサイクル...再利用)の「4R」を考えていただき、資源循環型のまちづくりにご協力をお願いします。

また、ごみ集積所は、地域の皆さまが適正に利用していただいているところですが、分別ができていなかったり、決められた



「子ども110番の家」
活動のお礼とお願い

「子ども110番の家」は、子どもたちが身に危険を感じた場合などに一時的に保護したり、緊急避難所としての役割を持ち、現在、通学路周辺のご家庭や店舗など約315戸にお引き受けいただいています。

報広聴担当
☎29611212

相談

鳩山町商工会主催
行政書士無料相談会

相談や遺言、各種許認可申請などの相談をお受けします。
▼日時 3月16日(木) 午前9時~正午
▼申込・場所・問合せ 鳩山町商工会 ☎29610591

ご登録ください
町公式フェイスブック
& ツイッター

町では、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用し、旬の話題や行政情報などを発信しています。ぜひ、ご登録をお願いします。(登録方法は下記参照)

なお、イベント等で職員が撮影する写真を、公式SNSで掲載されている場合は、撮影時にお声がけください。

▼問合せ 役場政策財政課 広

【鳩山町公式フェイスブック】



<https://www.facebook.com/hatoyamatown> にアクセスし、トップ写真右下にある「いいね」ボタンをクリックします。

【鳩山町公式ツイッター】



<https://twitter.com/hatoyamatown> にアクセスし、トップ写真右下にある「フォロー」ボタンをクリックします。

暮らしの『相談室』
3月中旬~4月上旬

- 県の法律相談【要予約】
日時：3月14日(火)・28日(火)、4月11日(火) 午後1時~4時 場所：ウエスタ川越4階(県川越比企地域振興センター相談室) 問合せ：県民相談総合センター ☎048-830-7830
- 町民法律相談【要予約】
日時：3月13日(月) 午前10時~正午 場所：役場3階301会議室 問合せ：総務課 ☎296-1214
- 行政相談・人権相談【要予約】
日時：3月21日(火) 午後1時~3時 場所：町保健センター 問合せ：総務課 ☎296-1214
- 女性相談【要予約】
日時：3月14日(火)、4月11日(火) 午後1時~4時 場所：役場3階304会議室 問合せ：総務課 ☎296-1214
- 精神保健福祉コミュニティサロン
対象：町内在住の精神障がいのある方とその家族、支援者など 日時：3月16日(木) 午後1時30分~午後4時 場所：町ふれあいセンター304会議室 問合せ：健康福祉課 ☎296-1241
- 夜間納税相談(納付もできます)
日時：3月30日(木) 午後5時15分~7時30分 場所・問合せ：税務課 ☎296-5892
- 消費生活相談
日時：毎週木曜日(祝日を除く) 午前10時~正午、午後1時~3時 場所・問合せ：産業振興課 ☎296-5895
- 生涯学習相談
日時：毎週水曜日(祝日を除く) 午後1時~4時 場所・問合せ：生涯学習課 ☎296-1263
- その他相談
日時：平日(月~金曜日) 午前8時30分~午後5時 場所・問合せ：総務課 ☎296-1214

▼問合せ 町教育委員会 生涯学習課 生涯学習担当 ☎29611263

皆さまのご協力により、児童生徒が安心して登下校できるようになっていきます。心からお礼申し上げます。

今後も、地域ぐるみで防犯意識の高揚を図り、犯罪などを未然に防止するとともに、子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、多くの皆さまに引き続き「子ども110番の家」へのご協力をいただけますようお願いいたします。



はとやま 雑感

町長 小峰孝雄

【今月のテーマ】横浜のいじめに思う事

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災が引き起こした東京電力福島第一原発事故後に、福島県から神奈川県横浜市に避難した男子生徒(13 歳)が、転校先だった横浜の市立小学校で原発避難を理由にいじめを受けていたことがマスコミで報じられています。

★

鳩山中学校にも、福島県から避難し、転校してきた生徒たちがいました。平成 26 年の広報はとやま 4 月号掲載「感謝の木 植樹式」でも触れていますが、鳩山中学校での子どもたちの交流の様子は、横浜のそれとは全く違ったものでした。重複する部分が多分にあります、再度紹介させていただきます。

★

平成 26 年 3 月に鳩山中学校を卒業した学年には、福島から避難して転校した 3 人の生徒が在籍していました。卒業式の時には、高校進学準備などのため、数か月前に福島へ帰還するなどしていました。

★

その卒業式は、私にとって忘れられない卒業式の一つです。昔の答辞に当たる卒業生代表の「別れの言葉」の最後は、この福島県から避難していた 3 人の友人たちとの楽しかった日々の思い出を涙ながらに語り、「自分たちは、何をしなければならぬか、常に考えさせられた」と述べ、3 人の今後に対する思いやりの言葉で締めくくられていました。

★

あの事故の直後から、鳩山町は、町をあげて避難者受け入れに取り組みました。そうした大人たちの姿勢が、子どもたちにも、なんらかの影響があったものと思います。

改めて、あの時避難者の受け入れに全力をあげたことを、良かったと思っています。



▼対象 スポーツ活動や文化活動などを行う 4 人以上の団体
▼対象となる事故の範囲 団体管理下での活動中(国内)の事故など
▼保険期間 平成 29 年 4 月 1 日〜平成 30 年 3 月 31 日
▼掛金 中学生以下 800 円・1450 円・1 万 1000 円、高校生以上 800 円〜1 万 1000 円
※活動内容や年齢により異なります。
▼補償内容 傷害保険・賠償責任保険・突然死葬祭費用保険

※加入区分により補償金額は異なります。
※必ず、「スポーツ安全保険のしおり」等で内容をご確認ください。
▼申込方法 郵便局窓口で払込後、払込受付証明書を貼付した加入依頼書(町民体育館・中央公民館・役場生涯学習課・東出張所で配布)を埼玉県支部へ郵送
※「スポ安ねっと」の場合は、スポーツ安全協会のホームページ内(<https://www.spokyo.jp/spoanet.html>)をご覧ください。



今宿コミュニティセンターは、(株)クリーン工房が平成 23 年 4 月

今宿コミュニティセンターの指定管理者が決まりました

い。
▼問合せ 公益財団法人スポーツ安全協会埼玉県支部 ☎ 048-779-19580

1 日から指定管理者として管理運営を行っています。この度、指定期間が平成 29 年 3 月 31 日で満了となるため、平成 28 年 12 月に行われた町議会で、(株)クリーン工房が次の期間、継続して指定管理者として指定の議決を受けましたのでお知らせします。なお、利用方法などに変更はありません。
▼指定期間 平成 29 年 4 月 1 日〜平成 32 年 3 月 31 日
▼問合せ 役場総務課 ☎ 296-1214

平成 30 年成人式の日程が決まりました

日時：平成 30 年 1 月 7 日(日)午後 1 時 30 分から(予定) 対象：平成 9 年 4 月 2 日から平成 10 年 4 月 1 日までに生まれた方 会場：町文化会館ホール 問合せ：町中央公民館 ☎ 296-2774
※現在、他市区町村に住居登録している方で、以前、鳩山町に住んでいた方も出席できます。町中央公民館へお申し出ください。

町では、平成 29 年度の集合狂犬病予防注射を次のとおり実施します(雨天決行)。1 年に 1 度、狂犬病予防注射を必ず接種しましょう。
※犬の登録がお済みの方には、3 月末に案内はがきを送付します。
▼日時・場所 下表のとおり

お知らせ

集合狂犬病予防注射
犬の登録者には
3 月末に案内はがき
が届きます

日時・場所

4 月 14 日(金)	4 月 15 日(土)
午前 9 時 30 分〜11 時 30 分 鳩山ライスセンター(泉井)	午前 9 時 30 分〜11 時 30 分 今宿コミュニティセンター 駐車場
午後 1 時 30 分〜3 時 30 分 公共駐車場(中央公民館西側)	午後 1 時 30 分〜3 時 30 分 公民館石坂分館駐車場

▼料金(1 頭) 3300 円(済票交付手数料 550 円、予防注射料金 2750 円)
※未登録の犬については、この他に登録手数料 3000 円がかかります。
※当日は釣り銭のないようにご用意ください。
▼問合せ 役場生活環境課 ☎ 296-15894

固定資産課税台帳の縦覧を実施します

固定資産税の納税者が所有する土地・家屋の価格と、周辺の土地・家屋の価格を比較し、所有する土地や家屋に関する評価が適正かどうかを確認していただくため、固定資産課税台帳の縦覧を実施します。
なお、土地・家屋に関する個人情報(所有者、税額等)は、縦覧の対象ではありません。縦覧の際には本人確認ができる書類と印鑑をお持ちください。また、代理人に依頼する場合には委任状が必要となります。
▼縦覧期間 4 月 3 日(月)〜5 月 31 日(水)(土・日曜日、祝日を除く)
▼縦覧時間 午前 8 時 30 分〜午後 5 時 15 分
▼縦覧場所 役場総務課
▼手数料 無料
▼問合せ 役場総務課 資産税賦課担当 ☎ 296-15892

平成 29 年度 スポーツ安全保険の加入受付を開始



婚活パーティー 春の比企コン「桜舞う動物園」

桜舞う動物園で、動物たちと触れ合いながら比企地域の魅力も感じられる婚活パーティーです。参加者限定特典として、プレコン(3 月 19 日に東松山総合会館で開催)で、著名な恋愛学者から必勝恋愛術を学べます。
対象：独身で 20 歳〜40 歳の男女 日時：4 月 1 日(土) 午前 9 時〜午後 5 時 場所：埼玉県こ

も動物自然公園 定員：男女各 50 人 費用：男性 6,000 円、女性 4,000 円 申込：3 月 15 日(水)までに専用ホームページ(<https://sites.google.com/view/harunohikikon/>)から。(先着順) 問合せ：(公社)比企青年会議所 誇れる比企創造委員会(Eメール：harunohikikon@gmail.com)



B型肝炎に関する医療講演会

日本の肝炎治療の第一人者、埼玉医科大学病院の持田先生から、B型肝炎治療の最先端のお話が聞けます。また、講演会の前に、B型肝炎の患者の方、そのご家族の方を対象に、治療や悩みを話し合う患者交流会も開催します。

対象：B型肝炎の患者の方・ご家族の方、医療従事者、治療に関心のある方 **日時**：4月2日(日)【患者交流会】午前10時～正午 【講演会】午後1時30分～4時30分 **場所**：大宮ソニックスシティビル棟4階市民ホール **講師**：埼玉医科大学 消火器内科・肝臓内科教授 持田 智先生 **費用**：無料 **申込・問合せ**：全国B型肝炎訴訟埼玉弁護団 ☎ 048-862-0377 (FAX048-866-0425)

県政サポーター募集中

県政の課題などについてご意見をお聴きし、県政に反映させるため、「県政サポーター」を随時募集しています。

応募資格：満16歳以上で、インターネットのブラウザ閲覧とメールの利用を日本語でできる方 **問合せ**：県広聴広報課 ☎ 048-830-2850

**シネマ
ホール**

場所

町立図書館・視聴覚室



『マイライフ・アズ・ア・ドッグ』(102分)

日時 3月12日(日)
午後2時から

内容 1950年代末のスウェーデンを舞台に綴られる、短い夏の記憶、最愛の母との思い出…。いつか子どもの時間が終わり、大人への第一歩を踏み出してゆく少年の姿を、ノスタルジックな匂いを漂わせながらもみずみずしく描く。



『ぼくのおばあちゃん』(123分)

日時 4月9日(日)
午後2時から

内容 住宅メーカーのトップ営業マンである智宏は、愛する妻と息子とともに順風満帆な生活を送りながらも、仕事に追われ、家族を省みる余裕を失いかけていた。そんなとき、おばあちゃんとの愛おしい日々の記憶がよみがえり…。多忙な日々を繰り返す現代社会の中、人々が忘れかけている「親子の絆」「命の大切さ」を描いた珠玉の感動作。

運動

町民卓球教室



主管 町卓球連盟

日時 3月26日(日) 午前9時から

場所 町民体育館

問合せ 鳩山町卓球連盟 長瀬 ☎ 296-1788

鑑賞

図書館のおはなしと朗読の会

「大人も子どもも楽しめる、本のひととき」をテーマに、絵本の読み聞かせ、心に残る詩や短編の朗読などを行います。

日時 3月25日(土) 午後1時30分から

内容 詩(やなせたかし「おとうとものがり」)、小説(角田光代「Presents」より)、おはなし「アナンシと五」など

演者 朗読会「窓」

場所・問合せ 町立図書館・視聴覚室 ☎ 296-5660

鑑賞

秘蔵の椿コレクション



普段非公開になっているバックヤードの「ツバキ園」を特別公開します。500種類以上のコレクションをぜひお楽しみください。

期間 3月18日(土)～4月16日(日) 午前9時30分～午後5時

場所 国営武蔵丘陵森林公園 都市緑化植物園(中央口より徒歩15分)

料金 【入園料】高校生以上410円、65歳以上210円、小・中学生80円 ※駐車料金別途必要

問合せ 同園管理センター ☎ 0493-57-2111

学ぶ

パソコン相談会(3月分)



対象 町内在住・在勤者

日時 3月16日(木) 午後1時15分～4時15分(入退室自由)

場所 町中央公民館 1階ロビー(費用無料)

受付 当日、会場へ直接お越しください。(予約不要)

※パソコンの持ち込み、スマートフォン・タブレットの相談も可。

問合せ 町中央公民館 ☎ 296-2774

放送大学4月生募集中

放送大学は、テレビ、ラジオ、インターネットを使用して授業を行う通信制の大学です。 **出願期間**：3月20日(月)まで(放送大学ホームページでも受付) **問合せ**：放送大学埼玉学習センター ☎ 048-650-2611

余暇よか Days

趣味や学びの情報便

3月の公民館・図書館休館日

【公民館】
6日(月)・13日(月)・20日(祝)
21日(火)・27日(月)

【図書館】
6日(月)・13日(月)・20日(祝)
21日(火)・27日(月)・31日(金)

体験

サトイモ・ネギ栽培教室

内容	日時
①サトイモ	【畑づくり】4月13日(木) 午前9時から(約60分)、【植付け】4月19日(水) 午前9時から(約90分)
②ネギ	【畑づくり】4月19日(水) 午前10時から(約60分)、【植付け】4月26日(水) 午前9時から(約90分)

場所 農村公園体験農園

定員 各20人(いずれも定員を超えた場合は抽選)

参加費 各1,400円

持ち物 タオル、十分な飲み物

申込期間 ①4月3日(月)～10日(月)、②4月6日(木)～13日(木)

抽選発表 ①4月11日(火)、②4月14日(金)

申込・問合せ 役場産業振興課 地域活性化担当

☎ 296-5895

体験

ガラス工芸体験



日時：毎週土曜日 午前10時～正午(予約制)

場所：多世代活動交流センター2階 ガラス工芸体験工房

費用：とんぼ玉(2個)1,000円 グラス絵付け(1個)800円

問合せ：はとやまがらす事務局 金子 ☎ 296-4812

多世代活動交流センター 出土品展示室を4月3日からリニューアルします

鳩山町内には奈良・平安時代の南比企窯跡群をはじめ縄文時代から近世までの多くの遺跡があります。これらの遺跡から出土した土器や瓦などを写真・パネルとともに展示し、鳩山町の歴史を学んでいただけるよう、出土品展示室を4月3日(月)から展示替えします。(出土品展示室は、展示入れ替えのため3月21日(火)～31(金)の期間閉室となります)

町指定文化財を含む、多数の出土品を展示します

ので、この機会にぜひご覧ください。

開室日：土・日曜日、祝日を除く平日 **開室時間**：午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで)

内容：【出土品展示室】「鳩山町の歴史～いにしへの宝物たち～」(4月3日から) 【美術展示室】町所蔵笹島喜平版画展「浮かび上がる仏の世界～荒ぶる仏とほほ笑む女神～」 **費用**：無料 **問合せ**：生涯学習課 文化財分室 ☎ 296-3862

体育施設の使用時は必ず申請を

次の体育施設を使用する場合は、必ず町民体育館窓口で申請をしてください。(施設の利用は有料です)。

▶**対象施設**

梅沢運動場、亀井運動場、中央庭球場、小用庭球場、テニスガーデン、町民体育館

▶**申込受付時間**

【①現金で申し込みをする場合】月～金曜日(祝日除く) 午前8時30分～午後4時30分 ※前記の曜日・時間帯以外での現金取り扱いは、行っておりませんのでご注意ください。

【②使用券で申し込みをする場合】町民体育館開館時間内の午前8時30分～午後9時 ※使用券は事前に①の時間内に購入しておいてください。

▶**その他注意事項**

◆電話での施設の仮予約はできません(施設の空き状況確認は可)。

◆毎月20日(土・日曜日、祝日の場合は翌平日)から翌月分の申込受付を開始します。

▶**問合せ**

生涯学習課 生涯スポーツ担当 ☎ 296-4900(町民体育館)

みんなの伝言板



絵画サークル「鳩画会」会員募集

静物・風景・人物などを楽しく自由に描き、秋の展覧会に出品しています。画材はお持ちください。ご連絡の上、見学も可能です。

活動日時：原則、毎月第2・4火曜日 午前9時30分～正午 **活動場所**：公民館石坂分館 **会費**：年額4,000円 **持ち物**：画材(何でも自由にお持ちください) **問合せ**：鳩画会 田村 ☎ 296-4649

精神障がいに関する「家族会」

ご家族が精神を患って、一人で悩んだり、不安を感じていませんか。同じ立場である家族同士の親睦を深めましょう。

対象：精神に障がいをお持ちの方のご家族(当事者は含みません) **日時**：3月12日(日) 午前10時～正午 **場所**：地域活動支援センターのぞみ(丸木記念福祉メディカルセンター敷地内。毛呂山町毛呂本郷682) **費用**：無料 **申込**：3月10日(金)までに下記へ **問合せ**：地域活動支援センターのぞみ ☎ 276-2088

実習先を探しています

県立毛呂山特別支援学校では、現在高等部2・3年生の企業就労のための現場実習の受け入れ先を募集しています。将来の就労受け入れ先としてだけでなく、実習のみの受け入れでも結構です。

問合せ：県立毛呂山特別支援学校 進路支援部 ☎ 294-7200

投稿 はとやま珍発見

枝が繋がったコブシの木



町内で珍しい木が発見されました。情報をくださった柳澤達雄さん(石坂)の自宅の庭に植えてあるコブシの木で、枝分かれしたものの(写真赤丸の下側)が、再び別の枝につながっている(写真赤丸の上側)という大変珍しいものでした。

柳澤さんは、この木を見て、「鳩山町でも空き家が多く散見されます。高齢化や核家族化が進む現代社会の中で、この木のような、夫婦や親子のつながりの大切さを感じてほしいです」との思いから、この珍しい木の情報をくださいました。

町内外から多くの人でにぎわう チャリティープロレス鳩山大会



プロレスラーが繰り出す迫力ある技が観客を魅了していました。

1月28日、町中央公民館で「全日本プロレスまちおこしスペシャル チャリティー鳩山町大会」が行われ、会場は超満員となる450人以上の来場者でにぎわいました。この大会は、まちおこしの一環で同大会実行委員会が企画したものです。平成27年開催に続く2回目となる今回も、収益の一部が町社会福祉協議会に寄付されました。また、会場では、町の特産品販売も行われ、県内外からの来場者に鳩山町をPRしました。

各地でまちおこし企画を行っている諏訪魔選手は、リング上で、「一昨年ぶりに帰って来られてうれしい。来年もぜひ実施したい」と語っていました。

「ふるさと支援隊」の大東大学生が 伝統的農法で大豆の脱穀作業



くるり棒を使った脱穀作業。大学生はすべに慣れていました。

1月10日、高野倉地内のほ場で大東文化大学 国際関係学部「大豆のアジア学」研究班の学生らが、「くるり棒」「唐箕」を使った大豆の脱穀・選別作業を体験しました。

この活動は、高野倉の花ノ木営農組合の方々から指導を受け、同大学が7月から実施している平成28年度中山間地域ふるさと事業調査研究(中山間「ふるさと支援隊」)事業の一環です。選別された大豆は、商品開発の試作品などに使用され、一連の活動は、2月17日にウエスタ川越で行われた活動報告会で、試作品の「枝豆ジュース」とともに発表されました。



まちレポ

「食」の力で人と人とのつながりを 「はとやま親子で囲む食卓」で交流

1月28日、町保健センターで「いっしょに食べよう！ はとやま親子で囲む食卓」が行われ、約20組の親子が、栄養バランスを整える弁当箱法を学びながら、大勢での食事会を楽しみました。

このイベントは、食の力で人と人とのつながりをつくろうと、鳩山町「食」コミュニティ会議プロジェクト(通称「食コミ」。事務局は町保健センター)の皆さんが企画したもので、平成25年度から様々な活動を行う中で、親子向け企画は初開催となりました。

参加者は、主食・主菜・副菜の適度な割合を実現できる「3・1・2 弁当箱法」について学んだ後、女子栄養大学のレストラン「松柏軒」のメニューを思い思いに選んで、オリジナル弁当を作りました。皆で食事を楽しんだ後は、「食」に関する集まりについての意見交換も行いま

このページでは、皆さんのコミュニティ活動や各種協議会・委員会などの活動に関連する記事や、皆さんからお寄せいただいた情報を掲載します。

◆情報は、掲載希望月の前々月末日までに、役場 政策財政課 広報広聴担当(〒350-0392 鳩山町大字大豆戸184-16・TEL296-1212・FAX296-2594・Eメール webmaster@town.hatoyama.lg.jp)にお寄せください。



した。

参加者からは、「親子でお弁当と一緒に詰めることはあまりないので良かった」「お弁当作りの参考になった」「大勢で食事する楽しさを味わえた」などの声があがっていました。



Vol.32

はとやまサークル図鑑

『幕末史研究会』

- ☆活動開始 平成16年4月
- ☆活動日時 毎月、第4土曜日 午後1時15分～4時30分
- ☆活動場所 ふれあいセンター
- ☆年会費 3,000円
- ☆問合せ 会長 小島 治さん ☎ 296-1777

☆ホームページ
幕末史研究会(鳩山)
<http://bakumatsuken.jimdo.com>

このコーナーでは、鳩山町コミュニティ推進協議会が発行する「サークルガイド」に掲載されているサークルの活動をご紹介します。

—活動内容は—
毎月1回、会員自身が発表者となり、得意のテーマなどで自由な発想の歴史講義を行っているほか、年に1〜2回、史跡探訪旅行や映画会、懇親会などを行っています。

—歴史と会の魅力は—
「温故知新」とも言われるように、歴史や過去の人物の生き方を通して、現在や将来に役立つことを学べます。また、会員によって見方や考え方が異なり、新たな発見がある面白さもあります。

—メッセージをお願いします—
幕末史に関わらず、歴史に興味のある方ならどなたでも、いつでも歓迎します。見学もお気軽にどうぞ！



会員の皆さん(1月28日参加者)



子育てカレンダー 3月中旬～4月上旬

※詳細は下記参照(◆ = Enjoy、● = すくすく、■ = Meet Book)

日程	内容	日程	内容
3 / 10 (金)	■うさぎちゃんの部屋	24 (金)	■うさぎちゃんの部屋
14 (火)	◆キッズルーム(コ) ●乳幼児健康相談	4 / 1 (土)	■こどもおはなし会
15 (水)	◆キッズルーム(カ)	◆町立幼稚園の保育体験は、3月中旬～4月はお休みです。 問合せ：町立鳩山幼稚園 ☎ 296-0592	
16 (木)	◆キッズルーム(コ)		
18 (土)	■こどもおはなし会		



Meet Book

3/18・4/1 こどもおはなし会

時間：午前10時30分から
※絵本・折り紙30分、子どもミニ映画会(上映作品「うっかりペネロペ」)30分
場所・問合せ：町立図書館(おはなしコーナー) ☎ 296-5660

3/10・24 うさぎちゃんの部屋

絵本の読み聞かせをします。
内容：3/10「なにのこどもかな」「みずちゃぼん」、3/24「くりんくりんごーごー」「いぬがいつぱい」 時間：午前11時から(30分) 場所：つどいの広場(ぼっぼ) 問合せ：町立図書館 ☎ 296-5660

3/14 乳幼児健康相談

対象：生後4か月～4歳 時間：午前10時～11時 場所：つどいの広場(ぼっぼ) 問合せ：町保健センター ☎ 296-2530

3月1日～7日は「子ども予防接種週間」

「子ども予防接種週間」では、通常の診療時間だけではなく、土・日曜日にも予防接種を受けられる場合があります(対応している曜日・時間は、医療機関によって異なります)。入園・入学で、4月から始まる新たな集団生活に備えて、予防接種を受けましょう。

「麻しん風しん混合ワクチン予防接種」はお済ですか

定期予防接種(無料)は、1歳児(I期)、小学校入学前の1年間の幼児(年長児)(II期)が対象です。II期の方は、平成29年3月31日を過ぎると自己負担となりますので、お子さんの体調のよいときに、早めの接種をおすすめします。

問合せ：町保健センター ☎ 296-2530



Enjoy

3/6 つどいの広場 子育て教養講座

時間：午前11時から 内容：「親子で手づくりおもちゃをつくって遊ぼうよ～紙皿・紙コップなどで動くおもちゃ～」(出演：鳩山町子育てネットワークくるっくー) 費用：無料(申込不要)

場所・問合せ：つどいの広場(ぼっぼ) ☎ 296-7733

火水木 ひばりキッズルーム

対象：【カンガールーム(水)】0歳児(生後3か月から)、1歳児【コアラルーム(火・木)】2歳児、3歳児 時間：午前10時～11時30分(3月21日～4月11日の期間はお休み)

場所・問合せ：ひばり子育て支援センター ☎ 296-5694



すくすく

3/14 乳幼児健康相談

対象：生後4か月～4歳 時間：午前10時～11時 場所：つどいの広場(ぼっぼ) 問合せ：町保健センター ☎ 296-2530



はとっ子通信

3月中旬～4月上旬

今月の「ニコニコキッズ」
町立今宿小学校6年1組の皆さん(2月14日撮影)

Topics

ひまわり保育ルーム(鳩山松寿園東館内)が開所しました



アウトホームな雰囲気のある保育室で、施設内に2部屋と、園庭もあります。

2月1日、鳩山松寿園東館内に、町で初めてとなる認可の事業所内保育所の「ひまわり保育ルーム」が開所しました。

この保育所は、国の子ども・子育て支援新制度を活用したもので、施設従業員のお子さんだけでなく、町内のお子さんを受け入れます。また、通常保育のほか、一時預かり保育も行います。

保育対象：0歳～2歳までのお子さん

保育時間：午前8時～午後7時(延長保育なし)

休園日：日曜日、年末年始

定員：10人(地域枠3人)

保育料：下記までお問い合わせください。

申込・問合せ：ひまわり保育ルーム(鳩山松寿園東館内) ☎ 296-7711 または役場健康福祉課子育て支援担当 ☎ 296-1241

Kids Report

中国料理にチャレンジ！ はとっ子料理教室



点心づくりは、小さな子どもでも楽しめました。

1月21日、町保健センターで「はとっ子料理教室」(町と女子栄養大学との連携事業)が行われ、参加者は、講師の土屋 純一氏(香川調理製菓専門学校)のアドバイスを受け、親子で中国料理の「肉まん」や、かわいい「動物点心(まんじゅう)」づくりを楽しみました。

さまざまな食材やプロの調理技術に触れることで、小さな子ども、食への関心を高めるきっかけとなっているこの料理教室。参加者からは「家にある材料で簡単に作れることが知れて良かった」「子どもといっしょに料理する機会を作ってもらえてありがたかった」「自分で作ったものはとてもおいしい」「親子で楽しく料理ができて良かった」などの声があがっていました。



ひばり子育て相談(電話相談)

外出するのはちょっと大変という方に、保育士・看護師が適切なアドバイスをします。

受付期間：平日(月～金) 午前9時～午後5時 問合せ：ひばり子育て支援センター ☎ 296-5694

教育相談

日時：3月16日(木)・23日(木) 午前10時～午後4時(3月30日・4月6日はお休み)

場所・問合せ：町立鳩山中学校 さわやか相談室 ☎ 296-2230

よい子の電話教育相談

(24時間365日対応)

◆保護者専用 ☎ 048-556-0874、Eメール相談 soudan@spec.ed.jp

◆18歳以下の子ども専用(無料) ☎ # 7300 または 0120-86-3192



ご存知ですか？パパ・ママ応援ショップ優待カード

「パパ・ママ応援ショップ」とは、中学3年生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭に配布している「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を協賛店で提示すると、割引などのサービスが受けられる子育て家庭への優待制度です。

また、平成28年9月から子どもが3人以上いる家庭を対象とした「多子世帯応援ショップ」も開始していま

すので、併せてご利用ください。なお、優待カードは役場健康福祉課、町保健センター、役場東出張所で配布しています。(夫婦で1枚ずつ持てます)

問合せ：役場健康福祉課 子育て支援担当 ☎ 296-1241

子育て支援パスポート事業協賛店舗の詳細は右の二次元バーコードからご確認ください▶



協賛店は全国で2万店以上!!

「はがきコミュニケーション全国発表大会」
山崎さんが文部科学大臣賞受賞

2月16日、表敬訪問により、快挙を報告しました。



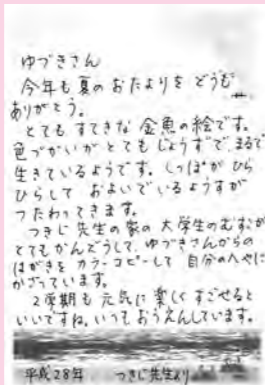
1月22日、平成28年度「はがきコミュニケーション全国発表大会」の表彰式が行われ、低学年の部(応募数 1,012 点)で、鳩山小学校2年生の山崎優月さんが、文部科学大臣賞を受賞しました。

手紙による子どもたちの心の交流の促進を目的に日本郵政が主催するこの大会で、山崎さんは昨年も、低学年の部で関東・南関東・信越ブロックのブロック最優秀賞を受賞し、今回は更に上位の受賞となる快挙となりました。

なお、今年度は姉の星華さん(同小5年生)も、高学年の部で関東・南関東・信越ブロック(応募数 166 点)のブロック優秀賞を受賞しました。



▲山崎さんの手紙
学校の先生からの返事の手紙▶



大会では、気持ちを伝えるはがきのやり取りが審査されます。山崎さんが手紙で、夏祭りで金魚すくいをしたときの気持ちを躍動感ある金魚の絵とともに伝えました(画像①)。学校の先生が、きれいで生きていたと金魚の絵を褒め、息子さんが手紙をコピーして部屋に飾ったとの報告とともに山崎さんに返事を返す(画像②)と、山崎さんはその内容がうれしくて、早く学校で先生とお話したい気持ちになったそうです。

全24チームが各クラスでのぎを削る
比企郡サッカー少年団鳩山大会



選手は、持てる力を精一杯出し切りました。(写真はAクラス)

2月4日・5日、梅沢運動場と亀井運動場で「第36回比企郡サッカー少年団鳩山大会」が開催され、比企郡内のチームが日頃の練習の成果を競い合うとともに、試合を通じて交流を深めました。

鳩山町からは、亀井サッカー少年団が参加。Aクラス(6年生以下)では惜しくも上位入賞を逃しました。Bクラス(4年生以下)は、決勝トーナメントに進出した後、1回戦で敗退となりました。

なお、亀井サッカー少年団では、団員を随時募集しています。お問い合わせは、同団代表の三枝忠夫さん(☎296-0554)までお気軽にご連絡ください。

町内外48人の剣士が腕を競い合う
第26回鳩山町少年剣道大会



緊張感のある中で、熱戦が繰り広げられました。

1月22日、町民体育館剣道場で鳩山町少年剣道大会が開催され、少年剣士が腕を競い合いました。

- 大会の結果は次のとおりです。(敬称略)
- 【小学生低学年の部】第1位：鈴木 心士 第2位：清野 陽愛 第3位：加藤 功喜・長谷 みずき
 - 【小学生高学年の部】第1位：北清 康祐 第2位：本間 みずき 第3位：阿部 幸子・伊藤 羽流花
 - 【中学生女子の部】第1位：市川 花菜、第2位：柴崎 彩花、第3位：岡部 琴菜・宮内 菜月
 - 【中学生男子の部】第1位：満留 輝 第2位：岡安 康作、第3位：須藤 盛伍・宝生 怜大

Pick Up

町内の小中学生が交通安全作文に挑戦



(前列左から)中西さん、吉岡さん、福島さん、福岡さん、平野さん(後列)町長、教育長、教育総務課長、各小学校長

町と教育委員会では、交通安全啓発のために、冬休み期間を利用して、町内の小・中学生に「交通安全作文」に挑戦してもらいました。これは、児童・生徒自身が交通安全に対する考えを整理し、文章(作文)にすることで、家庭や学校で学んだことを実践し、具体的な行動に結び付けてもらうことをねらいとしています。

募集に対して、38点の応募があり、教育委員会において審査した結果、下記のとおり優秀作品を5点選び、2月14日、役場会議室で表彰しました。

「交通安全作文」優秀作品一覧

受賞者(敬称略)	作品名
中西 総吾(鳩山小6年)	ぼくの六箇条
吉岡 美峰(鳩山小5年)	事故にあわないために
福島 未愛(鳩山小4年)	守るためにある決まり
福岡 春佳(亀井小3年)	わたしの通学路
平野 美桜(今宿小1年)	じこをおこさないために

その中から6年生の作品を紹介します(右記参照)。町と教育委員会では、これからも児童・生徒が主体的に取り組めるような啓発活動を通して、町全体の安全意識の向上・定着に努力していきます。

問合せ：町教育委員会 教育総務課 ☎296-7557

町内スポーツ少年団紹介企画 vol. 5



現在、小学1～6年生が在籍しています。(2月4日の参加者)

鳩山野球スポーツ少年団

同団では、あいさつなどの礼儀をきちんと身につけた上で、野球のルールを覚え、キャッチボールや走塁、投球フォームなどの基本をしっかりできるよう指導しています。また、バーベキューや花見などのレクリエーション、合宿中の紅白試合など、上級生・下級生の区別なく全員で行う親睦や活動も積極的に行うことで、チームとして一体感が生まれています。他学年との交流もできます。ぜひ、一緒に活動しましょう。

活動日時：毎週土・日曜日 午前8時30分～午後3時30分
活動場所：今宿小学校校庭など 会費：入会金1,000円、月1,500円 問合せ：長谷川 正博さん ☎295-3721

交通安全作文
優秀作品の一つを
紹介します

「キキイー!!」
ぼくは慌ててブレーキをかけた。突然路上駐車車のわきからトラックが、停止線を越え、出てきたのだ。ぼくのほうも、自転車のスピードがでいていたため、少しブレーキをかけるのが遅かったら、少トラクが出てくるのが遅くなってしまったかもしれない。

の時は、こわくて、恐ろしくて、全身が震えてしまった。だからぼくは、自転車の乗る時の六箇条をつかった。
一箇条：スピードを出さない。
二箇条：止まるところは、止まる。
三箇条：前後左右など周りをよく見る。
四箇条：並行走行しない。
五箇条：暗くなったらライトをつける。

六箇条：反射板をつける。
この六箇条を守れば、安全に自転車が乗れると思う。四月からは、中学生になる。毎日自転車通学が始まる。だから、ぼくはこの怖い経験を絶対に忘れないようにしたい。ルールを守り、安全に気を付けて自転車の乗ることを、日々こころがけたいと思う。

※原文にふりがなを付けて掲載しました。

きつず ひろほ

はとっ子
タイム



「はとっ子料理教室」で
点心料理を作りました！

(左) 牛久保 結生 ちゃん(7歳)

(中央) うた ちゃん(6歳)

(右) 景斗 くん(3歳)

皆さんからの
写真募集中！



今月のおすすめ絵本



※「うさぎちゃんの部屋」で読み聞かせを体験できます。
詳細は 21 ページをご覧ください。



このコーナーでは、町立図書館「らいぶらりい・メイト」投稿コーナーの絵などを紹介しています。



わたなべ はるか ちゃん
(小学5年生)



ふじいつつみ ちゃん
(小学6年生)



みやざき かりす ちゃん
(小学4年生)

人口と世帯
2月1日現在
()は対前月比

人口	14,120 人 (- 45)
男	6,955 人 (- 19)
女	7,165 人 (- 26)
世帯	5,949 世帯 (- 5)
1月の出生数	1 人

3月の納税・納付

町・県民税	(随 時)
固定資産税	(随 時)
国民健康保険税	(随 時)
介護保険料	(随 時)
後期高齢者医療保険料	(随 時)

◆納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編・集・室

人生の終わりをより良いものとするため、事前に準備を行うことを意味する、「終活」という言葉があります。私は、鳩山町の元気な高齢者の皆さんを見てみると、この「終活」が、人生の「終」盤をよりイキイキと自分らしく「活」動する、という意味が当てはまるように思います。より多くの方がこの鳩山版「終活」ができるようなまちづくりが、現在町が進めている「生涯活躍のまち構想」の一つ「地域包括ケアシステム」です。誰もが迎える「若い」、どうせ老いるなら楽しく老いる。そのための方法を、まだまだ「若い」皆さんと探っていけたらと思います。(黒田)

紙面上で下記マークがある場合は、関連情報を WEB でご覧になれます。

広報はとやま no.541 (平成29年3月1日発行)

この広報紙は再生紙を使っています。

編集：鳩山町役場政策財政課 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184-16

TEL049-296-1211 FAX049-296-2594

公式WEBサイト <http://www.town.hatoyama.saitama.jp>

公式フェイスブック <https://www.facebook.com/hatoyamatown>

公式ツイッター <https://twitter.com/hatoyamatown>

